

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	建築ストックマネジメント小委員会	主 査 名：有川 智 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：野城 智也
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築はフローからストックの時代に入り、官民とも膨大なストックを如何に合理的に管理するかが大きな課題となっている。ストック管理に関する各種技術を整理、再考し、将来の施設戦略やマネジメント技術を提言することを目的とする。 初年度：大会 P D 「建築ストックとデータサイエンス」開催済 2 年度：各種マネジメントにおけるストック活用事例と ICT 活用の実態把握 3 年度：大会 P D 「(仮称) 建築ストックマネジメント再考」開催 4 年度：公共・民間の施設戦略とマネジメント技術の俯瞰・再考・提言	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：有川 智 (東北工業大学) 幹事：堤洋 樹 (前橋工科大学), 李 祥準 (関東学院大学) 委員：円満隆平 (金沢工業大学), 小松幸夫 (早稲田大学), 山本康友 (首都大学東京), 讃岐亮 (首都大学東京), 松岡利昌 (松岡総合研究所), 板谷敏正 (プロパティデータバンク), 高橋暁 (建築研究所), 池澤龍三 (建築保全センター), 松村俊英 (ジャパンシステム), 山下光博 (建築保全センター), 恒川和久 (名古屋大学), 五十嵐健 (早稲田大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	75,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：建築ストックとデータサイエンスー活用事例と最新動向 参加者数 50 名 『建築社会システム部門パネルディスカッション資料：同上』(完売) 現在ストックマネジメントにおいて収集・蓄積されつつある多種多様な建物情報の重要性和活用における多くの課題が明らかになった。
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	P D での議論を踏まえて、公共及び民間の建物情報と ICT 活用についてその実態と課題が整理され、当初の目標は達成できている。
委員会活動の問題点・課題	各種マネジメント技術の目的・手法・担い手・用語等については継続調査が必要。多忙のため参加メンバーが固定化していたが、新たな委員を迎えたことで委員会活動をより一層活性化していくことが課題。